

指導課短信

1. 指導改善への取り組み

新学習指導要領の実施に合わせて、本県の県立高等学校におきましては、年次進行でシラパスを作成し生徒及び保護者に公表することとなっており、先生方には、すでに多大な御尽力をいただいているところです。また、昨年度から始まりました高等学校訪問につきましては、各高等学校の先生方とともに確かな学力の育成のためよりよい指導を目指して研究協議させていただくことを目的として御協力頂いているところです。

完全学校週5日制や新学習指導要領の実施に伴い、学力の低下が懸念されているところでもあり、確かな学力の育成が最重要課題とされております。平成15年12月の学習指導要領の一部改正等により、新学習指導要領の更なる定着を進め、そのねらいの一層の実現を図るため教育課程の弾力的な運用等の見直しが求められております。

来年度には、すべての学年のシラパスが整えられることとなりますが、このような背景において、シラパスは生徒の学習意欲を喚起し計画的な学習を支援するよりどころとなるものですので、各高等学校におかれましては、今後もシラパスの作成に積極的に取り組むとともに、その活用についても研究していただき、併せて生徒の確かな学力の育成に取り組んでいただきたいと思います。

2. 『高等学校指導資料』の配布

本年3月に『高等学校指導資料「ペーパーテストによる指導と評価の在り方」』が完成し、各高等学校に配布したところです。

日常の教材研究はもとより、生徒の良い点や進歩の状況を適切に評価し、個性や能力の伸長に役立てる等、評価の在り方についての取組が求められています。新学習指導要領においても、教育課程の実施等に当たって配慮すべき事項の1つとして、指導と評価の一体化について触れております。この資料は、「知識・理解」に偏らない、観点別評価を踏まえたペーパーテスト作成の留意点、参考事例、評価の在り方についての研究と新学習指導要領を踏まえた指導と評価の基本的な考え方や事例をまとめたものです。

学習指導の充実に向け、この『高等学校指導資料』をぜひ御活用いただきますようお願いいたします。

3. 千葉県高等学校教育課程研究協議会

昨年から年次進行で始まった新学習指導要領による教育課程のさらなる充実を図ることを目的として、去る平成16年7月26日(月)に千葉県立千葉女子高等学校にて開催いたしました。

今回は、講師として、崎山廣和先生、齋藤茂先生、清水達夫先生をお迎えして行われました。

その内容は次のとおりでした。

説明① 「高等学校教育課程実施状況調査について」

指導課 上市 善章 指導主事

説明② 「学習指導要領の一部改正等について」

県立東金商業高校 齋藤 茂 先生

説明③ 「数学科における指導と評価の一体化」

県立沼南高校 清水 達夫 先生

説明④ 「ペーパーテストによる指導と評価の在り方」

県立千葉東高校 石橋 修 先生

県立佐倉西高校 釜范 徳行 先生

説明会では、「学習指導要領の一部改正等について」と「4観点を踏まえた評価」や「指導と評価の一体化」等の新学習指導要領を踏まえた指導と評価の在り方について、講師の方から御説明いただきました。前半では、指導課から国立教育政策研究所で行った教育課程実施状況調査の分析のなかから誤答分析や生徒の質問紙調査から特徴的な内容について取り上げ紹介し、この分析結果を生徒の現状把握に役立てていただきたいということを説明しました。

次に新学習指導要領の一部改正等においてどのように学力を保証し、確かな学力を育成し生きる力をはぐくむかについて、その全般的な内容を齋藤先生から解説していただきました。後半では、具体的な評価の手順や方法等について、いかに指導し評価していくか、『高等学校指導資料』に触れながら、清水先生にお話いただきました。

また、続く説明では、『高等学校指導資料』の作成のコンセプトや苦労した部分について具体的に説明していただくとともに、「4観点を踏まえた評価」や「指導と評価の一体化」について、実践事例を発表していただき参加した先生方には大変参考になったものと思われま

4. 平成16年度公立高等学校入学者選抜学力検査における数学の結果

全体の平均点は、57.3点で、前年度と比べて0.1点高くなりました。

基礎的・基本的な問題についての正答率は従来どおり高いのですが、数学の基礎的・基本的な知識と技能を総合的に活用する問題（一次関数、二次関数、確率）や平面図形の問題、三平方の定理、作図、命題の証明の正答率が低い数値でした。

5. 教科研究員（平成16・17年度）

平成16・17年度の数学科教科研究員を次の方をお願いいたしました。教科研究員の先生方には、該当の2年間、実践的かつ具体的な研究を行い、その成果を報告書としてまとめていただくこととなります。

富田 昌宏（千葉女子高校）
堀越 恵二（幕張総合高校）
相浦 敦（鎌ヶ谷西高校）
坂本 大輔（小金高校）
横田 弘之（市原緑高校）

なお、平成14・15年度の『高等学校教科研究員研究報告書』は、各高等学校に送付されています。この報告書を通じて、教科研究員の先生方の熱心な研究成果が、県下で広く活用されることを期待しております。